

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	ワークショップ1	
科目基礎情報					
開設学科	放送芸術科	コース名		開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	選択	時間数	60時間
単位数	4単位			授業形態	講義
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。				
担当教員情報					
担当教員	高沢敦博		実務経験の有無・職種	有 映像制作	
学習目的					
座学で得た知識、実習で学んだ基礎技術を実践的に活用する。					
到達目標					
臆することなく知識・技術を試してみるようになることが第一。「失敗してもいいんだ」という気持ちを持ってほしい。					
教育方法等					
授業概要	小さな作品の企画制作を通して、日頃の授業と映像制作を結びつける内容。コンパクトに映像制作全般を理解する授業。				
注意点	この授業を選択した学生は、より積極的な意識で受講してほしい。自ら参加してチャレンジして体験することでスキルを上げてほしいと考えます。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	0%			
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 (口頭・実技)	50%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	50%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～8回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	計画説明～企画作成①		短期間撮影を想定した5分程度のショートムービーを企画する		
2回	企画作成②＋プレゼンテーション		主旨と映像構成、予算管理を踏まえた計画をプレゼンテーションする		
3回	撮影準備＋ロケハン		現実の映像に落とし込むべく、限られた時間と予算の中でのベターを探すことが重要		
4回	撮影①		ふいに起こるトラブル、刻々と変わる状況の中撮影を進めることを学ぶ ①		
5回	撮影②		ふいに起こるトラブル、刻々と変わる状況の中撮影を進めることを学ぶ ②		
6回	編集＋MA①		場合によっては予定のショットが撮れていない中での編集作業を進める		
7回	編集＋MA②		編集とMAで作品は大きく変わりうることを学ぶ		
8回	上映 講評会（4時間）		きちんと全員で鑑賞し、批評し合うことが重要となる		